

25. 悪性骨軟部腫瘍

○

○:専門とするがん △:グループ指定により対応しているがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり △:グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×:なし

○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日							各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ					
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術				化学療法	放射線療法			ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容				
			切・離断術	患肢温存術	再建術	骨移植術		体外照射	小線源治療			治療内容	治療実績	医師の専門分野		
1 形成外科	4	3	状況	○	○	○	○	○	×	×	顔面や手足の先天奇形や新鮮外傷、皮膚軟部組織の良性および悪性腫瘍、外傷や熱傷、手術等により生じた外表の変形や欠損などに対する形成外科独自の治療から、外科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、口腔外科等との連携による悪性腫瘍切除後の再建や、救急診療科との連携による顔面や四肢の熱傷や外	ア	形成外科 http://www.gh.opho.jp/patient/examination/72.php	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	あり	あり	あり	あり	なし	なし		イ	http://			
2 放射線治療科	2	2	状況	×	×	×	×	×	○	×	Novalis Tx による定位照射、IMRTを積極的に行っています。	ア	放射線治療科 http://www.gh.opho.jp/patient/examination/75.php	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	なし	なし	なし	なし	なし	あり	なし		イ	http://			
3			状況									ア	http://			
			実績									イ	http://			
4			状況									ア	http://			
			実績									イ	http://			
5			状況									ア	http://			
			実績									イ	http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること	
---	--

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例:骨肉腫、軟骨肉腫、Ewing肉腫、悪性線維性組織球腫、横紋筋肉腫、平滑筋肉腫、血管肉腫、線維肉腫 骨肉腫
------------------------------------	---